

秋の本山旅行に

お出かけ下さい。

本年十一月八日(火)から十日(木)の二泊三日で、総本山長谷寺と徳川家康の居城岡崎城や錦山寺温泉をめぐる本山参拝旅行を企画いたしました。(別紙案内参照)

太田市内「薬王寺」とさんと、常楽寺の同宗派二ヶ寺で計画した、この旅行は、バス一台で定員二十五名の旅行となります。

バスの旅は、まず第一に、安全と安心と、ゆとりたしとした車で、い本山までの長距離の旅を、十分楽しんでいただけるよう、特別に配慮した計画で、若干費用は高くなりますが、十分満足のいただけるものです。

是非、一度「本山の参拝旅行」に参加ください。初日は一直線に総本山長谷寺にバスを進めて「本山の見学を済ませます。

第二日は、早朝、早起きをして長谷寺にのぼり、朝

の勤行に参加します。

総本山長谷寺の、現在の

「本堂(観音堂)は、三代将軍家

光公によって建立された入母屋造りの正堂と礼堂からなる双堂(ならびどろ)の形式で、前面に舞台が付いた大木造建造物で、国宝に指定されています。

そのお堂の内、たくさんのお坊さん方が声を響かせて繰り広げられる、荘厳な朝の「祈り」は「ころが洗われ、法要の進むなかで、十メートルを超える日本一の「一面観世音菩薩」さまの姿が、目の前に現れる、朝の勤行は、荘厳で感激的なものです。

私たちの宗派「真言宗豊山派」の総本山は今から千五百年ほど前、観音様の「衣木が、滋賀県大津の浦に漂着し、用明天皇の時代、大和国八木の里初瀬に移され、西暦七二四年、徳道上人の手で、今日の長谷寺が建立されたと伝えられています。

その後、長谷の観音様の「利益が世に広まると、光仁天皇をはじめ、称徳天皇・文徳天皇・宇多天皇など歴代

所有する大きな寺院となりました。

また、本年三月までに「国宝 長谷寺本堂舞台建造物保存修理事業」や、傾斜地の地崩れ防止などのための「長谷寺境内防災整備事業」が完成して、長谷寺境内は、堅固なものとなり、その景観も美しくなりました。みなさんも、一度は「本山の参拝旅行」に参加ください。

ら墓地をきれいにしてあげられるのよ、早朝での墓地の清掃作業時間も、短い時間に済ませる「こと」が出来ると思っています。

墓地の一斉清掃は、それぞれの地区の役員さん方が世話人として「指示していただきますが、通路や共通した部分などは、ごみや手分けをして、清掃してください。

古くお塔婆等の処分については、寺に運んでいただくか、役員さんの指示に従ってください。

一斉清掃の時、ご自身も「都合のいかなご家庭は、出来れば早めに清掃を済ませてください。



8月7日6時

おほえ前の 墓地一斉清掃と

今年も、まもなく「お盆」の季節がやって来ます。

常楽寺では、「お盆」を迎える恒例行事として、墓地の一斉清掃を行って来ましたが、本年も例年にならって八月七日(日曜日)早朝六時より、実施したいと思います。ご協力ください。

早朝六時からの作業となりますが、最近、それぞれの「家庭での、墓地の管理や、折々にお墓参りをされる」家庭も多くなり、常日頃から